

## 気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究 -地方都市との関係-

### 1. 気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-地方都市との関係-

外地の社宅街の特質

※外地：戦前期の台湾、樺太、関東州（「満洲国」）、朝鮮、南洋群島

※社宅街：企業が建設した工場に附属する社宅や福利厚生施設から構成された地域

①開発を進めた日本の企業との関係は終戦と共に断絶

→盛衰のうち「衰」の部分への言及は困難

→一方、戦後も利用された（ている）ものも多い

②周縁部に位置し、内地とは距離がある

③内地よりも厳しい気候風土である

④内地よりも多様な言語や民族に接する機会が多い

→様々な出自の従業員が働く

⑤地域により歴史的背景が大きく異なる

### 2. 関連する文献

以下の文献を配付。以後、頁番号は、通しではなくなるので注意（文献などの頁数は、配付資料の頁数には加算せず）。

[1] 辻原万規彦：朝鮮窒素肥料の興南地区社宅街について-野口研究所所蔵史料を用いて-，日本建築学会計画系論文集，第671号，pp.135～142，2012.1.

[2] 辻原万規彦：外地の社宅街開発，2010年度日本建築学会大会（北陸）企業経営〔若手奨励〕特別研究 研究懇談会資料 企業経営の盛衰とその空間構成（企業経営都市の盛衰とその空間構成に関する〔若手奨励〕委員会編），日本建築学会，pp.21～24，2010.9.

### 3. 参考 URL

[1] 『社宅街 企業が育んだ住宅地』の出版社による紹介

<http://www.gakugei-pub.jp/mokuroku/book/ISBN978-4-7615-3176-8.htm>

[2] 「様々な工場に付随する社宅街」に関する研究成果の一覧

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/syatakugai.html>

[3] 京都大学地域研究統合センター

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>